

指導項目	学習内容	時数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 家族・家庭生活	・ガイダンス 1 今の自分とこれから これまでとこれからの自分	2	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。	・家族とのかかわりについて問題を見出して課題を設定している。	・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
B 衣生活	1. 衣服のはたらきと手入れ 2. 衣服の選択と着方 3. 布を用いた作品で生活を演出 生活を豊かにするものの制作 4. 持続可能な衣生活	26	・衣服と社会生活とのかかわりについて理解している ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の計画的な活用必要性について理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ブックカバーに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。 ・日常着の手入れについて問題を見出して課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、絞殺したことを論理的に表現している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え問題を見出して、工夫している ・資源や環境に配慮し、ブックカバーの製作計画や製作について問題を見出して課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・衣服の洗濯について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し、実践しようとしている。 ・よりよい生活に実現に向けて、ブックカバーの製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
B 住生活	1. 人間にとっての住まい 2. 生活に必要な住空間 3. 自然とともにある住生活 4. 安全で健康的な住生活	7	・家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。 ・家庭内の事故や自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って生活を改善したりして、生活を工夫創造、実践しようとしている。